

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能									<b>2.9</b>	
Q-1 室内環境							<b>0.40</b>		<b>3.5</b>	
1 音環境							<b>2.2</b>		<b>2.9</b>	
1.1 騒音							<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00
1.1.1 暗騒音レベル							3.0	0.40	3.0	0.29
1.1.1.1 1 暗騒音レベル							3.0	1.00	3.0	1.00
1.1.1.1.1 2 設備騒音対策										
1.2 遮音							<b>1.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.50
1.2.1 開口部遮音性能							1.0	1.00	5.0	0.30
1.2.1.1 1 開口部遮音性能									3.0	0.30
1.2.1.1.1 2 境界遮音性能									3.0	0.20
1.2.1.1.1.1 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									3.0	0.20
1.2.1.1.1.1.1 4 界床遮音性能(重量衝撃源)									3.0	0.21
1.3 吸音							<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.21
2 温熱環境							<b>2.0</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00
2.1 室温制御							<b>3.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00
2.1.1 室温設定							3.0	0.60	-	-
2.1.1.1 1 室温設定									-	-
2.1.1.1.1 2 換気熱・温熱制御性									-	-
2.1.1.1.1.1 3 外皮性能					W		3.0	0.40	5.0	1.00
2.1.1.1.1.1.1 4 ゾーン別制御性									-	-
2.1.1.1.1.1.1.1 5 温度・湿度制御									-	-
2.1.1.1.1.1.1.1.1 6 個別制御									-	-
2.1.1.1.1.1.1.1.1.1 7 時差外空室に対する配慮									-	-
2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1 8 監視システム									-	-
2.2 湿度制御							<b>1.0</b>	0.20	-	-
2.3 空調方式							<b>1.0</b>	0.30	-	-
3 光・視環境							<b>2.6</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00
3.1 昼光利用							<b>1.8</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30
3.1.1 昼光率							1.0	0.60	5.0	0.50
3.1.1.1 1 昼光率									3.0	0.30
3.1.1.1.1 2 方位別開口							3.0	0.40	3.0	0.20
3.1.1.1.1.1 3 昼光利用設備					W		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30
3.2 グレア対策										
3.2.1 曇りガラスのガラス							3.0	1.00	3.0	1.00
3.2.1.1 1 曇りガラスのガラス										
3.2.1.1.1 2 昼光制御					W		3.0	0.15	3.0	0.15
3.2.1.1.1.1 1 照度							3.0	1.00	3.0	1.00
3.2.1.1.1.1.1 2 照度対策										
3.3 照度							<b>3.0</b>	0.25	<b>1.0</b>	0.25
3.3.1 照度							3.0	0.25	1.0	0.25
3.3.1.1 1 照度										
3.4 照明制御										
4 空気環境							<b>4.2</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00
4.1 発生源対策							<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63
4.1.1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00
4.1.1.1 1 化学物質汚染										
4.1.1.1.1 2 化学物質汚染										
4.1.1.1.1.1 3 デコ・カビ等										
4.1.1.1.1.1.1 4 レジネ塗料等										
4.2 換気							<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38
4.2.1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.1.1 1 換気量									3.0	0.33
4.2.1.1.1 2 自然換気性能							3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.1.1.1.1 3 取り入れ外気への配慮										
4.2.1.1.1.1.1 4 給気計画										
4.3 運用管理										
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視										
4.3.1.1 1 CO <sub>2</sub> の監視										
4.3.1.1.1 2 喫煙の制御										
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-
1 機能性							<b>3.0</b>	0.40	<b>2.4</b>	1.00
1.1 機能性・使いやすさ							<b>3.0</b>	0.60	<b>2.0</b>	0.60
1.1.1 広さ・収納性									2.0	1.00
1.1.1.1 1 広さ・収納性										
1.1.1.1.1 2 高度情報通信設備対応							3.0	1.00	-	-
1.1.1.1.1.1 3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性							<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40
1.2.1 広さ感・景観									3.0	0.50
1.2.1.1 1 広さ感・景観										
1.2.1.1.1 2 リフレッシュスペース										
1.2.1.1.1.1 3 内装計画							3.0	1.00	3.0	0.50
2 耐用性・信頼性							<b>3.0</b>	0.31	-	-
2.1 耐震・免震							<b>3.0</b>	0.48	-	-
2.1.1 耐震性							3.0	0.80	-	-
2.1.1.1 1 耐震性									-	-
2.1.1.1.1 2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数							<b>3.1</b>	0.33	-	-
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29	-	-
2.2.1.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		4.0	0.12	-	-
2.2.1.1.1 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		4.0	0.29	-	-
2.2.1.1.1.1 3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-
2.2.1.1.1.1.1 4 主要設備機器の更新必要間隔										
2.3 適切な更新										
2.3.1 床・壁・天井・外壁仕上げ材の更新										
2.3.1.1 1 床・壁・天井・外壁仕上げ材の更新										
2.3.1.1.1 2 配管・配線材の更新										
2.3.1.1.1.1 3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性							<b>3.0</b>	0.19	-	-
2.4.1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-
2.4.1.1 1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-
2.4.1.1.1 2 給排水・衛生設備							4.0	0.20	-	-
2.4.1.1.1.1 3 電気設備							1.0	0.20	-	-
2.4.1.1.1.1.1 4 機械・配管支持方法							4.0	0.20	-	-
2.4.1.1.1.1.1.1 5 通信・情報設備							4.0	0.20	-	-

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.1</b>	0.29	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 空間のゆとり									
1 階高のゆとり				階高2900以上を有している	3.0	0.17	3.6	0.50	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.17	4.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.17	3.0	0.40	
3.3 設備の更新性					<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
1 空調配管の更新性				構造材を痛めることなく、配管の更新が可能としている。	3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.0</b>
1 生物環境の保全と創出		G			1.0	0.40	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			2.0	0.20	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温暖環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.3</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.1</b>
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を満たしている	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					2.5	0.20	-	-	2.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型の給湯設備を設けている。	4.2	0.40	-	-	4.2
4 効率的運用					3.0	-	-	-	-
4.1 モニタリング	W				3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	W				3.0	-	-	-	-
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					<b>3.2</b>	0.85	-	-	<b>3.2</b>
2.1 資源の再利用効率					3.6	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W			合板廃材・木屑等を利用した材料を利用している。	3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				5.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.3</b>
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.10	-	-	1.6
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」のチェック項目の一部を満たしている。	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温暖環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.40	-	-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制			S		3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30	-	-	

LR-1 用途別点表		集合住宅	-	-	-	面積積分
		2,862 m <sup>2</sup>	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの ERRIによる評価	-	-	-	-	4.2
	高効率化 個別設備による評価	4.2	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	4.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-